

製品名: AACT ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06375**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	46kDa

抗原情報

遺伝子名	SERPINA3
別名	SERPINA3; AACT; GIG24; GIG25; Alpha-1-antichymotrypsin; ACT; Cell growth-inhibiting gene 24/25 protein; Serpin A3
遺伝子 ID	12.0
SwissProt ID	P01011
免疫原	抗血清はヒト SERPINA3 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

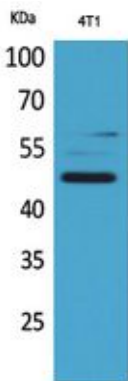
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、血漿プロテアーゼインヒビターであり、セリンプロテアーゼインヒビタークラスに属します。このタンパク質の多型は組織特異的で、プロテアーゼの標的化に影響を与えるようです。このタンパク質の配列変異はアルツハイマー病に関連していることが示唆されており、このタンパク質の欠損は肝疾患と関連しています。パーキンソン病および慢性閉塞性肺疾患の患者において変異が確認されています。[RefSeq 提供、2008年7月];注意: Met-1 と Met-4 のどちらがイニシエーターであるかは不明です。、疾患: SERPINA3 の欠陥は、慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の原因となる可能性があります [MIM:107280]。、ドメイン: 反応中心ループ (RCL) はタンパク質本体から伸びており、標的プロテアーゼへの結合を誘導します。プロテアーゼは RCL 内の反応部位でセルピンを切断し、セルピン反応部位のカルボキシル基とプロテアーゼのセリン水酸基との間に共有結合を確立する。結果として生じる不活性セルピン-プロテアーゼ複合体は非常に安定である。、機能: 生理学的機能は不明であるが、好中球カテプシン G および肥満細胞キマーゼを阻害することができる。これらの酵素はいずれもアンジオテンシン-1 を活性型アンジオテンシン-2 に変換する。、その他: α -1-アンチキモトリプシンは DNA に結合することができる。、オンライン情報: α -1-アンチキモトリプシンのエントリ、配列注意: 翻訳時に N 末端が短縮される。、類似性: セルピンファミリーに属する。、サブユニット: DNAJC1 と相互作用する。、組織特異性: 血漿。肝臓で合成される。類似の α 1-アンチトリプシンと同様に、炎症や感染症の急性期に濃度が上昇します。アルツハイマー病患者の脳の海馬のミロイドプラーク中に存在します。

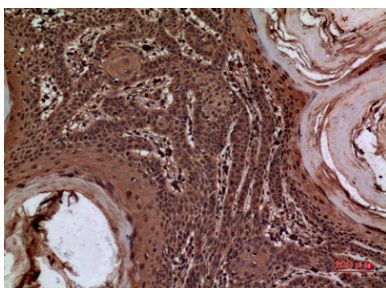
研究分野

-

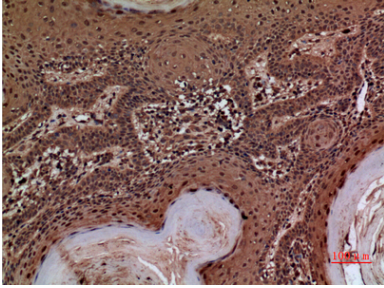
画像データ



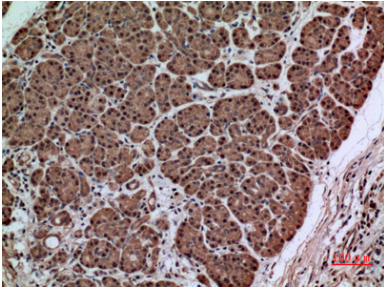
AACT ポリクローナル抗体を使用した 4T1 細胞のウエスタン ブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



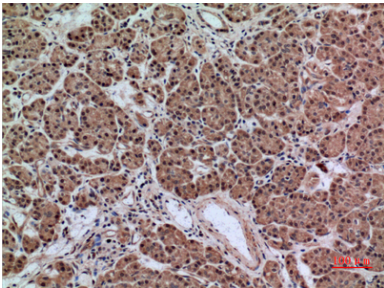
パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト膵臓癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト膵臓癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された